

職員による自己評価

保護者による評価

A環境面

- ・自由遊びでボールを使用すると狭く感じる
- ・来所人数やお子様のご様子に合わせて職員配置をしている

B業務改善

- ・第三者の評価は受けていない
- ・研修についてはコロナの影響もあり今年度は難しかった

C児童への支援内容

- ・アンケートや日々の連絡帳などを踏まえて職員間で話し合いを行っている
- ・活動プログラムは週替わりで担当職員が決めて行っている
- ・毎日ケース記録を記入し振り返りを行っている。振り返りの内容は記録を取り非常勤職員にも周知している
- ・祝日などはお出かけなども企画している
- ・モニタリングを半年に1度必ず行っている

D関係機の連携

- ・キッズクラブや学童との交流は行っていない
- ・お迎え時に担任の先生から様子などをお聞きして療育に活かしている

E保護者への説明責任・信頼関係

- ・保護者様の悩みには職員で協議し面談・ノート・送迎時に対応している
- ・療育の様子はノート・送迎時にお伝えしている
- ・活動の内容や予定はお便りやブログで発信している

F非常対応

- ・地震・土砂災害の避難訓練を年に1度ずつ行っている。またご家庭にはフローチャートをお渡ししている

A環境面

- ・ベテランの職員の異動が多く残念
- ・先生方の資格など細かいことは知りえない。若い新しい先生もどんどん成長されていくので会社としてのフォローアップもできているように感じる
- ・環境面に関してはコロナ禍で見学できずわかりません

B児童への支援内容

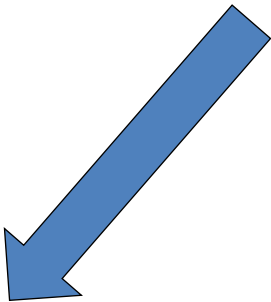
- ・いつも丁寧に対応していただきありがたい
- ・様々なカリキュラムを考えていただきありがたい

C事業所からの情報発信

- ・コロナ禍で講演会や参観日が出来ず残念だった
- ・苦情に関しては申し立てたことがないのでわからない
- ・保護者会や面談についてはコロナ禍で仕方ない気持ちと行っていたきたい気持ちがある
- ・自己評価の結果は拝見していない
- ・いつも連絡帳や口頭でその日の様子を丁寧に説明していただけています。また、問題点やそれに対する改善案も提示していただけるのでとても有難い
- ・いつも親切かつ丁寧に支援していただいている
- ・連絡帳を記入しやすいものに変えてほしい

D非常対応

- ・マニュアルを見たことはないが、きちんと訓練されている



事業所内での分析

【共通点】

- ・お子さんの日々の様子を伝えている
- ・コロナ禍で講演会・参観日・研修が行えなかった
- ・避難訓練を行っている

【相違点】

- ・面談は基本、年に1度行っている。今年度に関しては面談・電話面談・聞き取り票の中から選択していただき対応
- ・自己評価の結果はホームページに掲載している

分析・検討してみて…

事業所の強み

- ノートや口頭、面談でお子様のご様子をしっかりお伝えしている
- 毎日振り返りを行っている
- 微細運動・粗大運動がバランス良く組み込まれたプログラムになっている
- 問題点や保護者様からのご相談に関しては職員全体で協議している

事業所の改善点

- 情報の発信が不足している
- 年に1度の見学ウィークが難しかった。コロナ禍でもできるだけ保護者様にお子様のご様子をご覧いただける工夫が必要
- 連絡帳など直接療育とは関係のない所にも気を配り保護者様のご意見を聞く

事業所の改善への取り組み

- お便り、ブログ、連絡帳、送迎時などを通して情報発信をこまめに行っていく
- 密にならないように工夫し、見学ウィークを開催の方向で検討していく
- ブログの存在が知られていないので周知していく。また、こまめに更新していく
- 保護者様からご意見がいただけるようにお便りなどでお知らせしていく

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

• お褒めの言葉を多くいただきいつもご理解ご協力していただけている環境に感謝しかありません。コロナを理由に「できません」ではなく安全を確保しながら、お子様の成長をお伝えできるように職員一丸となり取り組んでいきたいと思っております。

事業所名 のびの木港南

担当者 安中 優子